

全国初の消費・経営大学院

社会人対象(男女共学)・1年制・2021年度開設予定

昭和女子大学は2021年4月

社会人のための「消費・経営大学院」(略称)

(大学院生活機構研究科福祉社会研究専攻

消費者志向経営コース)を開設します。

働きながら学ぶ方々のための様々な工夫を盛り込んだ

全く新しい大学院です。

会社や組織で活躍を目指す方々はもちろん、

これから活動の輪を広げたいと思っている方々も、

東京以外の社会人も入学可能です。

是非、奮ってチャレンジしてください。

Graduate School for Consumer-Oriented Management

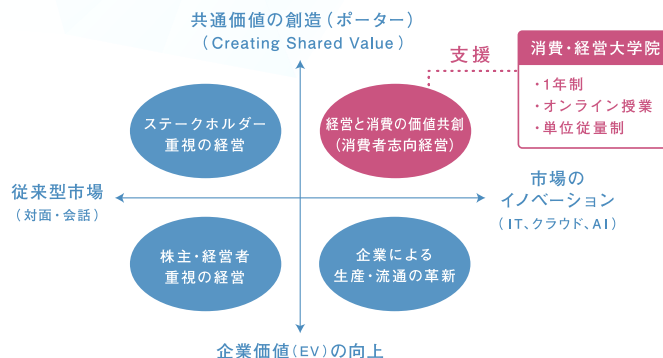
2021 APRIL START

昭和女子大学

SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

設立の趣旨・狙い

情報化、グローバル化の進展の中で、新しい消費生活に配慮した経営が必要です。株主や経営者の利益だけでなく、社会、地域、環境などへの配慮は不可欠なものとなっています。幅広い関係者の幸せを目指して、長期的な視野に立ったステークホルダーと協働する新しい経営戦略が求められています(右図参照)。
本大学院では、このような消費社会において、新しい価値創造に取り組み、会社や組織の企画、立案、推進役などを担う人材の育成を目指します。



新しい大学院コース 6つの特色

01. 本大学院修了により、修士の学位のほか、「マスター消費生活アドバイザー」の資格の取得が可能。
本大学院は、消費生活アドバイザーの試験機関、日本産業協会の「指定大学院制度」の認定を受けました。
消費生活アドバイザーの方は是非ご検討ください。
02. 社会人のための1年制修士課程。
03. 柔軟な修学を支援する科目履修生制度、学費単位従量制。
04. 実務経験をポジティブに評価し、その実務経験をレベルアップできる履修体系。
05. 授業は、主に平日夜間、土曜日に開講。
06. 時間・場所の制約がある社会人のために、講義・ゼミ(論文指導など)のオンライン授業を積極的に活用。

主な開講科目

「消費者政策論」※ 「CSR論」「現代生活経営研究Ⅰ」※
「消費者教育(消費者倫理)」※ 「日本経済論」※
※2020年度プレ開講科目。

詳細はWEBサイト「2020年度
科目等履修生出願要項」を参照。



「起業と組織」「消費者志向経営論」「公共政策論」「企業のリスク・マネジメント」
「マーケティング戦略論」

「消費者志向経営演習」「消費者志向経営研究(修士論文作成指導)」「消費者志向経営分析法」など

期待される 履修生のイメージ

企業において、企画、経営を担う中堅・若手社員(企業派遣)
企業・行政において消費者関係実務に携わる社員・職員
企業、行政、NPOなどにおいて、社会のルール作り、ビジネスモデルの開発に携わる職員 など

2021年度入試日程 (予定)

詳しくは、下記問い合わせ先まで。

■ 募集人員

福祉社会研究専攻修士課程 全体で50名※

- ※①2年制コース ②消費者志向経営コース(1年制)
③福祉共創マネジメントコース(1年制)の合計

■ 学費

入学金10万円
基礎授業料10万円/半年分
単位授業料(1単位当たり¥45,000)

試験日程	事前面談申込締切※	出願期間	入試日	試験科目	合格発表日
9月期入試	2020年 7月27日	2020年8月11日~ 18日 17日	9月 5日	小論文・面接	9月12日
2月期入試	2020年12月14日	2021年1月12日~25日	2月13日	小論文・面接	2月20日

課程修了要件単位数:30単位

※事前面談(出願条件:必須)は、出願書類提出までに行うこと。

詳細はWEBサイト「2021年度
昭和女子大学大学院入試要項」を参照。



問い合わせ先

昭和女子大学(消費者志向経営コース担当) 飛田 史和

mail:shohisha@swu.ac.jp